

看護師の皆さんが安心して派遣で働くために

『医療DXとは』

2025年 9月20日

日本派遣看護師協会

目次

- 1 医療DX（デジタルトランスフォーメーション）とは
- 2 DX推進の必要性
- 3 看護DXの取り組み事例紹介
 - ①外来での予診
 - ②診療・検査に関する説明
 - ③入院患者へのバイタル測定
 - ④入院患者の看護記録の入力
 - ⑤入院患者の見守り
- 4 まとめ

1. 医療DX（デジタルトランスフォーメーション）とは

医療DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して情報やデータを共有・標準化して医療業務を効率化・最適化、医療サービスを向上させる取り組みを言います。

医療業務が効率化することによって、看護師は、より専門性を発揮できる働き方や派遣契約など多様化する働き方に対応することが可能になります。

具体的には、電子カルテの活用や患者の健康管理データのデジタル化、診断補助ツールの導入、「全国医療情報プラットフォーム」の創設などが考えられています。

看護師にとっては、負担の多かった記録業務の非効率性や多すぎる業務から解放されることにより、本来のケア業務に集中できる環境が作られます。

厚生労働省では、様々な観点で、医療DXや看護DXを紹介しています。

『医療DX』 <https://www.mhlw.go.jp/stf/iryoudx.html>

『看護DX事例紹介』 <https://www.mhlw.go.jp/content/001478134.pdf>

* 医療DXは、看護業務だけでなく、病院、薬局、訪問看護ステーションなど含めたDX（デジタルトランスフォーメーション）のことを指します。看護DXは、看護業務に特化したものを指します。

2. 医療DXの必要性

少子高齢化の進展、とりわけ団塊の世代が後期高齢者に到達し、国の医療費は、今後ますます大きな負担となってきます。また、急激に増加する医療・介護ニーズに対し、医療従事者の人材不足も深刻な問題となっています。

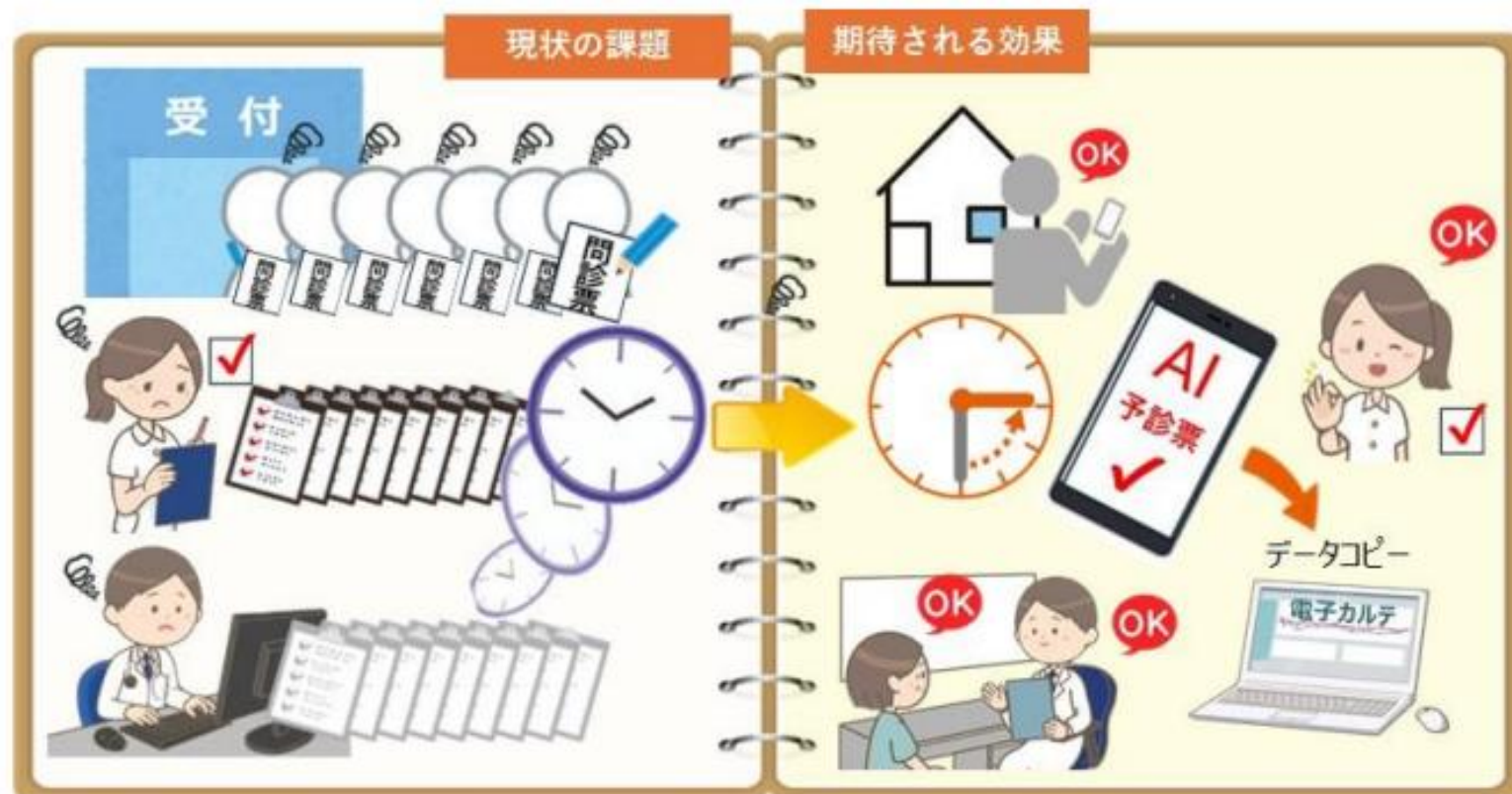
さらに、医師や看護師の長時間労働、医療機関の経営難など医療業界の課題は根深く、デジタル化の遅れもひとつの弊害と考えられていました。

医療DX(デジタルトランスフォーメーション)を通じたサービスの効率化や質の向上により
①国民の更なる健康増進、②切れ目ない質の高い医療等の提供、③医療機関の業務効率化、④システム人材の有効活用、⑤医療情報の二次利用の環境整備などの実現を目指しています。

1. 医療の均質で高いサービスの提供
2. 国の医療費削減
3. 医療従事者の人材不足対策
4. 医療機関の経営改善

3. 看護DXの事例紹介①

外来での予診に際し、電子予診を活用することで、記入漏れ等のチェックを最小限にし、カルテへの転記業務がなくなり、効率的に情報共有が可能となります。



厚生労働省『これからはじめる看護DX事例紹介』

<https://www.mhlw.go.jp/content/001478134.pdf>

3. 看護DXの事例紹介②

これまで患者説明に際し、書類も多く管理・運用が煩雑であったが、動画にすることによって、同時説明が可能となり、さらに、患者の理解度・質疑に対する時間確保も可能となります。



3. 看護DXの事例紹介③

バイタルサイン等の入力作業に追われ、患者との会話や直接ケアの時間に余裕がないという問題に対し、通信機能付バイタルサイン測定機器を活用することで、リアルタイムに近い記録の共有が可能となります。



3. 看護DXの事例紹介④

入院患者の看護記録の入力のため、時間外労働が多いことから、モバイル端末の電子カルテ入力補助を活用することで効率化と正確性が向上します。



厚生労働省『これからはじめる看護DX事例紹介』

<https://www.mhlw.go.jp/content/001478134.pdf>

3. 看護DXの事例紹介⑤

勤務人数が限られている夜間帯のナースコール等への看護師の対応の負荷が大きいが、入院患者の見守りにカメラやモバイル端末、スマートグラスで見守り患者対応を予測した看護業務を実施します。



厚生労働省『これからはじめる看護DX事例紹介』

<https://www.mhlw.go.jp/content/001478134.pdf>

4. まとめ

医療DX(デジタルトランスフォーメーション)は、「難しいもの?」とか「派遣で働く場合に慣れるのに時間がかかる?」とか考えがちですが、決してそのようなことはありません。

医療DXとは、看護師の皆さんが日頃感じていた非効率な作業をデジタルの力で、業務プロセスや仕組みそのものを根本的に再構築することなので、派遣で働く看護師の皆様も病院によるローカルルールのようなものがなくなり、より効率的で、かつ安心・安全で働きやすい職場が実現することになります。

今後は、派遣で働く病院の医療DXの進展状況なども確認しながら、派遣先の病院を選ぶことも必要になってくると思われます。